

阪神・淡路大震災救援活動記録発行に際して

全国浄土宗青年会理事長 辻本良明

この度、阪神・淡路大震災救援活動の記録を発行するに当たり、救援活動の傍ら準備・発行にご尽力下さいました近畿ブロック浄土宗青年会の皆様、救援活動アンケート等にご協力いただきました各ブロック教区浄青の皆様方に厚く御礼申し上げます。

さて、未曾有の大災害阪神・淡路大震災、全国浄土宗青年会も第13期の神田眞晃理事長(当時)のもと、近畿ブロック浄土宗青年会に災害救援本部を置き、緊急救援の段階から活動を行ってきました。各ブロックや教区会員による被災地での救援活動とともに、全国レベルで募金活動が行われ、多くの人々の思いがさまざまな形で寄せられました。

全浄青にとっての今回の活動は、浄土宗の青年僧侶が行う救援活動とは何なのかということ問いかけながらの活動だったように思います。青年僧は何が出来るのか、何をしなければいけないのかを議論しながら、或いは体当たりの活動の中で方向性を見いだしていった活動でありました。そして、念仏者としての願いをもって活動する中に新たな願いが生まれ、それが次の活動への原動力に繋がっていったのだと思います。

私自身も、全浄青がレクリエーションボランティアとして活動していた青陽東養護学校の避難所での貴重な体験の中から、仏教カウンセリングを学びたいとの願いが生まれました。それは、全浄青のボランティア活動の一環として、避難所にいらっしゃる被災者の方々、特にお年寄りへのお話しボランティア(カウンセリング)の実践を行った時でした。私自身、普段の檀信徒とのふれあいの中で、自分は話を聞くことのプロであるという自覚を持ち、特に、お年寄りに対しては大きな自信がありました。しかしその自信は、実際に被災した方々を前にして、簡単に吹き飛んでしまいました。そこから教えられたものは、大きな災害を体験された方々に、初対面の者がお話しをお伺いするということが、いかに難しいかということでした。その体験が出发点となって、策14期の全浄青のテーマである、『心身相応』—心と心の対話を求めて—と題した仏教カウンセリングの研修に繋がりました。私は今期のテーマは、阪神・淡路大震災の活動から生まれたものだと思います。

自然の力を見せつけられた阪神・淡路大震災、本報告書には実際に行われた救援活動の内容とそこから学んだノウハウ、そして救援に携わった多くの人々の思いや願いが綴られています。大災害後の救援活動から生まれたその思いや願いをもととして、念仏門の青年僧あり方を模索しながら、会員皆さんの新たな活動へと繋がっていくことを念じます。 合掌

発刊によせて

近畿ブロック浄土宗青年会
理事長 眞泉善章

今回、阪神・淡路大震災救援活動報告書を発行するにあたり、ご法務の傍らご尽力いただきました近畿ブロック浄土宗青年会救援委員会・ボランティア実行委員会の編集小委員会の各師にまづもって心より御礼申し上げます。

さて、前第9期近畿ブロック浄土宗青年会塩竈義明理事長の意志を受け、今期近畿ブロック浄土宗青年会では救援委員会を発足し、またその下部組織としてボランティア実行委員会(JIVA)を設置し、種々の救援・ボランティア活動を実施して参りました。近畿ブロック内6教区浄土宗青年会の「六和敬」の暖かい心に引っ張られ、後押しされ、とにかく前向きに前向きに走ってきたように思います。振り返ってみますと、この2年間は私個人にとりましても、「ボランティア」という言葉との格闘であったような気がします。「自分の足元もしっかりしてないのに、何がボランティアや。自分のことをちゃんとしてから行ったらどうや。」という言葉のある人から言われて愕然としたこと、ボランティアに対する理解の得られないくやしさを、行きたくても仕事で行けない情けなさ、等々苦しい思い出があります。でも、いろいろなご縁に導かれて、自分を育てていただいた2年間であったように思います。

活動を進めて行く上で、さまざまな問題点はまだまだたくさんありますが、青年僧として何ができるか、何をさせていただけけるかを考え、一方、自分たちのためにさせていただくのだとうけとらせていただいて、今後もさらに前向きに取り組んでいきたいと思ひます。現在、緊急の場面での「救急救命士」の活躍が取り沙汰されますが、私共僧侶は、それになぞらえて「救急救心僧」ともいうべき心の面のケアを見据えた活動が大切であると思ひます。そのような活動も含めて、私共青年僧にとって「ボランティア」という言葉を“Bozu Runs There”とうけとめて、すぐに対応できるような組織、体制を模索しつつ活動を続けて参りたいと存じます。皆様の御教導の程お願い申し上げます。 合掌

発刊によせて

前13期全国浄土宗青年会理事長
近畿ブロック浄土宗青年会
ボランティア実行委員会ジーバ委員長 神田眞晃

この度、全国浄土宗青年会と近畿ブロック浄土宗青年会が共働され、阪神・淡路大震災救援活動報告書を発刊されることとなられ、本当にありがたくお礼申し上げます。当時を振り返れば、活動の中、多くの知人に出会い握手をして共に感動の涙を流した事や、出来なかった活動の方が多かった悔しさ、頑張れないほど心が打ち沈んでいる人に、『がんばって』の言葉さえかけてはいけないと言われたつらさ、命懸けで活動に参加して下さった会員達の菩薩のような顔、各地よりの義援金送付の用紙の心のこもった言葉などが走馬灯のように巡り、記憶が鮮明によみがえります。

さて、この時の活動が、迅速に出来たのは、震災の翌日、1月18日に大阪で近畿ブロック浄土宗青年会理事会が開催され、すぐに救援活動に入られ、19日に現地視察活動をされたからであります。私も、今では、阿弥陀様のお導きではなかろうかと信じております。その理事会において、すぐに救援センター長の私と、救援委員会委員長の塩竈(当時近畿ブロック浄土宗青年会理事長)さんと協議して、救援センターの活動として初めての対策本部設置を近畿ブロック浄青に依頼して、即時救援活動をお願いしたのでした。その後の、素晴らしい活動は目を見張るものがあり皆様の周知の通であります。

最後になりますが、この紙面をお借りして、阪神・淡路大震災の救援活動・義援金活動にご協力を賜りましたことを厚くお礼申し上げますとともに、この掲載されています言葉が金科玉条となられ、私たちの心に響き、益々救援活動が活発になれん事を祈念しております。合掌

発刊によせて

全国浄土宗青年会副理事長
前近畿ブロック浄土宗青年会理事長 塩竈義明

阪神・淡路大震災が起こり、2年という歳月が流れました。あっという間の一瞬の出来事があれ程までに多大な影響を与え、今もなお様々な問題が起こっております。

目に見える形としては、日々その姿を変え、場所によっては思いもしないほど変化しており、物質的にはかなりの復興を遂げたように思えます。しかし、精神的な側面から見ると、あの“悲惨さ”“苦しみ”“悲しみ”を、一見乗り越えたかのように思えますが、実際には心に大きな傷跡を残して生活されている方々が今も多くおられるのです。

2年を振り返り、私たち近畿ブロック浄土宗青年会は地震発生当初より、諸々の活動を進めてまいりました。人材派遣活動では、緊急物資搬入・配布・復旧作業・斎場での回願・仮設住宅での諸活動等でした。また、募金活動では、全国の寺院・青年会会員より多大なる浄財をお送り頂き、被災地の方々のために役立させて頂きました。

また、一周忌法要に際しましては、総本山知恩院より東灘区西福寺様までの「追悼念仏行脚」を行いました。この念仏行脚には知恩院の“お光”を追悼と現地寺院や、人々の復興の希望の光となるようにお届けいたしました。

私たち青年僧は、「まず動きあり」の心で、諸々活動に真正面より取り組んでまいりました。青年僧の若さと知恵と行動力で目一杯に活動することができたと思っております。この報告書を作成するにあたり、これは、あってはならないことではありますが、もしもの場合に備えて青年僧の活動が、迅速に・円滑に行われ、多くの人々のために役立つことができるような資料となるようまとめました。報告書作成にご尽力頂いた編集委員の皆様にお礼申し上げます。

最後に、知恩院よりお届け申し上げた“お光”が、今後も人々の心の中に赤々と輝き続け、新たなる力となることを願っております。合掌

救援活動内容

平成7年

- 1月17日(火) 「兵庫県南部地震」発生
午前5:46
- 18日(水) 近プロ理事会開催(大阪教区教務所)
午後2:00 ・「兵庫県南部地震災害救援本部」を設置
・全浄青救援センターより委任を受ける
・災害地救援基地を尼崎市常楽寺に設置
- 19日(木) 災害地現状把握のため現地視察
- 20日(金) 現地調査による、緊急救援物資を災害地救援基地に集積
- 21日(土) マイクロバスにて救援物資配付
- 22日(日) 救援物資配付、浄土宗よりの救援物資配付協力
- 27日(金) 西宮斎場・鶴越斎場での無縁仏回向
伊丹市各寺院(法厳寺・光明寺・正覚寺・大蓮寺・正善寺・西光寺)
救援活動、お見舞い
- 28日(土) 西宮斎場・鶴越斎場での無縁仏回向
武崎組 阿弥陀寺(本堂庫裡全壊)復旧作業
内容:本尊・両大師・諸仏像搬出作業
- 30日(月) 西宮斎場・鶴越斎場での無縁仏回向
灘組 西福寺(住職伊藤省三師遷化)にて回向
避難所お見舞い、その他寺院お見舞い
- 31日(火) 西宮斎場・鶴越斎場での無縁仏回向
- 2月1日(水) 須磨寺にて無縁仏回向
- 7日(火) 灘組 阿弥陀寺(庫裡全壊)、武崎組 阿弥陀寺復旧作業協力
- 8日(水) 灘組 阿弥陀寺、武崎組 阿弥陀寺復旧作業協力
灘区青陽東養護学校避難所(約1,000人)にレクレーションボランティア
- 9日(木) 青陽東養護学校レクレーションボランティア
- 10日(金) 青陽東養護学校レクレーションボランティア
- 12日(日) 第1回阪神淡路大震災災害救援本部委員会(尼崎 常楽寺)
- 14日(火) 武崎組 来迎寺(本堂全壊)本尊・仏具搬出作業
- 15日(水) 青陽東養護学校レクレーションボランティア
武崎組 来迎寺解体復旧作業
- 16日(木) 青陽東養護学校レクレーションボランティア
武崎組 来迎寺解体復旧作業
- 17日(金) 青陽東養護学校レクレーションボランティア
- 18日(土) 毎日新聞社災害救援センター「阪神大震災子供救援金」へ全国からの義援金の内500万円を寄付
- 20日(月) 灘組 西福寺復旧作業
内容:本尊・両大師・諸仏具搬出作業
- 21日(火) 灘組 西福寺復旧作業
内容:諸仏具搬出作業
- 2月22日(水) 灘組 西福寺解体復旧作業
青陽東養護学校レクレーションボランティア
灘組 光明寺復旧作業

- 23日(木) 灘組 西福寺解体復旧作業
武崎組 法性寺宮殿搬出作業
青陽東養護学校レクレーションボランティア
- 24日(金) 灘高等学校 うどん炊き出し(奈良浄青中心)
武崎組 西蓮寺(本堂全壊)、灘組 西福寺復旧作業
- 28日(火) 武崎組 西蓮寺復旧作業
- 3月1日(水) 青陽東養護学校 炊き出し
- 2日(木) 青陽東養護学校 コーヒー、紅茶、ココア、昆布茶
- 8日(水) 武崎組 親王寺(本堂全壊)復旧作業(知恩院・神奈川浄青・兵庫浄青中心)
- 9日(木) 武崎組 親王寺復旧作業(知恩院・神奈川浄青・兵庫浄青中心)
青陽東養護学校レクレーションボランティア
- 10日(金) 武崎組 親王寺復旧作業(知恩院・神奈川浄青・兵庫浄青中心)
長田区若松公園 炊き出し(ぜんざい、コーヒー)(京都浄青中心)
- 16日(木) 第5回理事会・第2回救捏本部委員会(大阪教区教務所)
- 27日(月) 仮設住宅向け日用品の提供(京都浄青中心)
- 29日(水) 仮設住宅向け日用品の提供(京都浄青中心)
- 4月6日(木) 平成7年度第1回理事会・第1回救援本部委員会(浄土宗宗務庁)
- 22日(土) 第2回救援本部委員会(ホテル・ニューアルカイク)
- 5月13日(土) 灘組 西福寺境内「母の日(花まつり)フェスティバル」
内容:追善回向、おでん、ざるそば、フランクフルト、ポップコーン、たこ焼き、あてもの等屋
台設営、花束プレゼント等
- 16日(火) 神戸組 東極楽寺 追悼写経会(写経と読経回向)
- 20日(土) 青陽東養護学校 復興祭「ミニ運動会と避難所の集い」
内容:体操、玉入れ、綱引き、ボール運び、カラオケ、ビンゴゲーム、おでん、焼き鳥等
- 22日(月) 神戸組 東極楽寺 追悼写経会(写経と読経回向)
- 6月8日(木) 武崎組 西安寺 復興屋台村設営(奈良浄青中心)
内容:お好み焼き、焼きそば、あてもの、焼きおにぎり等
- 16日(金) 第2回理事会・第3回救援本部委員会(大阪教区教務所)
- 17日(土) 神戸組 東極楽寺 追悼写経会(写経と読経回向)
- 19日(月) 仮設住宅向け日用品の提供(京都浄青中心)
- 25日(日) 仮設住宅向け日用品の提供(京都浄青中心)
- 7月12日(水) 神戸組 東極楽寺 追悼写経会(写経と読経回向)
- 29日(土) 神戸組 東極楽寺 追悼写経会(写経と読経回向)
武崎組 西蓮寺「和順会復興フェスティバル」(兵庫浄青中心)
内容:追善回向、ゲーム、屋台設営等
- 8月5日(土) 灘組 阿弥陀寺 静岡浄青主催「神戸納涼盆踊り大会」
内容:模擬店協賛(ヨーヨー、かき氷、そうめん、くじ引き、花火等)盆踊り
- 9月14日(木) 第3回理事会・第4回救援本部委員会(京都教区教務所)
- 26日(火) 第1回一周忌追悼念仏行脚実行委員会(京都 上徳寺)
- 10月23日(月) 第2回追悼念仏行脚実行委員会(神戸 ワシントンホテル)
- 12月7日(木) 第4回理事会・第5回救援本部委員会(京都教区教務所)
- 26日(火) 毎日新聞社災害救援センター「阪神大震災子供救援金」へ全国からの義援金 500万円を
寄付(2回目)
- 27日(水) 第3回追悼念仏行脚実行委員会(ホテル・ニューアルカイク)

平成8年

- 1月14日 「阪神・淡路大震災」一周忌追悼念仏行脚、知恩院を念仏行脚出発
(日)～
17日(水) 中村康隆猊下より頂戴したお灯明を先頭に一路神戸へ

- 14日(日) 泊:大阪府島本町西福寺
 15日(月) 泊:大阪府箕面市帝釈寺会館
 16日(火) 泊:尼崎市ホテル・ニューアルカイツク
 17日(水) 全浄青救援センター主催・近ブロ浄青共催・浄土宗後援、知恩院協力による
 午前5:30 『阪神・淡路大震災一周忌追悼法要』厳修(尼崎市 常楽寺)
 法要後、東灘区西福寺まで念仏行脚
 午後3:00 西福寺で一周忌法要
 法要後、バスにてホテル・ニューアルカイツクへ移動、解散
 19日(金) 兵庫教区・浄土宗・知恩院共催『阪神・淡路大震災物故者一周忌法要』厳修(神戸文化
 午後1:30 ホール)
 2月6日(火) 第6回救援本部委員会(浄土宗宗務庁)
 3月14日(木) 第5回理事会・第7回救援本部委員会(プリンセス有馬)
 4月8日(月) ボランティア実行委員会準備会議(神戸 銀平)
 近ブロ浄青の一委員会としてボランティア委員会を発足。
 名称を“JIVA”とする。
 5月9日(木) 近ブロ浄青総会(浄土宗宗教庁)
 11日(土) 武崎組 阿弥陀寺「母の日(花まつり)フェスティバル」
 午前10:00～ 内容:“円山GOGO5”コンサート、屋台出店、花束プレゼント、追悼法要等
 午後3:00
 17日(金) 第8回救援本部委員会(京都 ギオンホテル)
 6月21日(金) 救援委員会(神戸 ワシントンホテル)
 7月20日(土) 神戸組 願成寺「納涼夏まつり」開催(企画:神戸浄青)
 午後3:00～ 内容:追悼法要、のど自慢大金、コント、大喜利、屋台各種
 午後8:00
 9月10日(火) JIVA委員会(ホテル・ニューアルカイツク)
 11月8日(金) JIVA委員会(尼崎 常楽寺)、仮設住宅に対するアンケート実施
 12月6日(金) 救援委員会(大津 ロイヤルオークホテル)

平成9年

- 1月9日(木) JIVA委員会(ホテル・ニューアルカイツク)
 16日(火) 兵庫教区・浄土宗・知恩院共催『阪神・淡路大震災物故者三回忌法安』厳修(神戸文化
 ホール)
 17日(水) 近ブロ浄青主催『阪神・淡路大震災物故者三回忌巡礼回向』
 午前5:30～ 第1部 三回忌法要(尼崎 常楽寺)
 午前7:30～ 第2部 三回忌巡礼回向(尼崎～神戸市長田区)
 2月17日(月) 救援委員会(京都教区教務所)
 6月14日(土) 神戸組 浄業寺(本堂全壊)、「父の日フェスティバル」開催予定